【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和4年1月6日(2022.1.6)

【公開番号】特開2021-130207(P2021-130207A)
【公開日】令和3年9月9日(2021.9.9)
【年通号数】公開・登録公報2021-042
【出願番号】特願2020-25051(P2020-25051)
【国際特許分類】
Ｂ２８Ｂ　7/34　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２８Ｂ　7/34　Ｍ
Ｂ２８Ｂ　7/34　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】令和3年11月22日(2021.11.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定の剛性を有する枠体と、
該枠体の外側面に設けられ、同外側面との間に樹脂を収容可能な所定の収容部を形成するアンカー部と、
該アンカー部を埋めて前記収容部に収容されるようにして前記外側面を被覆して設けられた、所定の形状の型部を有する樹脂層とを備える
樹脂型枠。
【請求項２】
前記枠体は、金属製、木製若しくは強化プラスチック製のいずれか一つである
請求項１に記載の樹脂型枠。
【請求項３】
前記アンカー部は複数設けられ、同アンカー部の屈曲又は湾曲した曲部によって前記収容部が形成されると共に、前記曲部の延長方向が互いに交差するように配置されている
請求項１又は請求項２に記載の樹脂型枠。
【請求項４】
前記収容部は、前記外側面に段配置された断面視略半円状の凸部分の外周面と前記外側面とが近接する方向へ狭小となるように形成された隙間部である
請求項１又は請求項２に記載の樹脂型枠。
【請求項５】
前記収容部は、前記外側面から突出した複数の凸状部に形成されている径小部である
請求項１又は請求項２に記載の樹脂型枠。
【請求項６】
前記収容部は、前記外側面よりも窪んだ窪み部である
請求項１又は請求項２に記載の樹脂型枠。
【請求項７】
外側面にアンカー部が設けられた所定の剛性を有する枠体を、成形型に対し所定の空間を以て取付ける枠体取付け工程と、
該枠体取付け工程で形成された前記空間に前記アンカー部が埋まるように樹脂を充填す

ることで、前記アンカー部が前記外側面との間に形成している収容部内に前記樹脂を収容すると共に前記外側面を前記樹脂で被覆し、その後に固化させて、前記成形型で模られた型部を有する樹脂層を前記枠体と一体に成形する成形工程とを備える
　樹脂型枠の製造方法。